

## 第1回 高校生SDGs選手権大会 ポスター発表 説明資料

学校名	福岡県立中間高等学校
チーム名 (メンバー名)	Cチーム 野村玲太、飛高初季、平岡千明、平野一誠、福田小遥、 三輪俊貴、保武和也、山口敦幹、行實咲来、横山凌、渡邊聡士
作品タイトル	エコと共存
関係する SDGs のゴール	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
説明文	<p>1 改善策</p> <p>①廃熱や体熱を利用した信頼性の高い発電の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場などで排出された廃熱や体熱をエネルギーに変えることによってあらゆる場所で多彩なエネルギーを実用化する。</li> </ul> <p>②再生可能エネルギーの使用増大の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>風力や地熱など自然のエネルギーを利用することによって2030年までに安価で信頼できる現代的エネルギーサービスへのアクセスを確保する。また、再生可能エネルギーの割合や改善枠を拡大させる。</li> </ul> <p>2 現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業や市民による使い捨てのプラスチック削減や脱プラスチックを行った結果、CO<sub>2</sub>が減少した。しかし、現在、日本のエネルギーは化石エネルギーが中心となっており、エネルギー自給率も極めて低くなっている。今後、再生可能エネルギーへの移行がさらに求められる。</li> </ul> <p>3 中間高校にできること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>節電を促進する。校内では、エアコンの温度を適温に調整し、こまめに消灯する。ゴミの分別を徹底する。また、家庭ではエコバッグを使用し、プラスチックゴミの減量に努める。</li> </ul>
課題、 今後の展開など	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーの施設建設や土地の確保が必要となる。その方策として企業や行政との連携などが考えられる。</li> <li>また、私たち自身は日常生活の中での節電やゴミの減量といった基本的なことを心をかけて行かなければならない。</li> <li>今後は紙製品やCO<sub>2</sub>を排出しない再生可能エネルギーへの移行が実用化されてくると思われる。</li> </ul>
参考文献等	

(説明文は1ページ以内)